

## 発生動向の概況

インフルエンザの定点当たり報告数は、第4週44.0人から第5週37.2人と減少しましたが、依然として県全体で警報の基準値(定点当たり30人)を超えており、大きな流行が続いています。地域別の推移をみると、県内で最も多発していた宇和島地区が第4週67.3人から第5週40.7人に減少するなど、西条地区を除く6地区は第5週に減少しましたが、西条地区では第4週32.2人から第5週40.4人に増加しています。また、地域別の患者報告数は、八幡浜地区を除くすべての地区で警報の基準値を超えており、依然として患者数の多い状態が続いています。第5週の報告患者の年齢割合は、5~9歳36.4%、0~4歳24.4%、10~14歳19.1%と14歳以下が79.9%を占め、警報レベルに達した第3週以降、年齢割合に大きな変化はみられません。学校等における集団発生(学級閉鎖等)の報告も第4週、第5週の2週続けて50施設からあり、引き続き集団生活を中心とした感染の拡大に注意が必要です。ウイルス型は、A香港型が主流ですが、当所に搬入された東予の検体からB型が検出されました。本格的な流行期ですので、感染予防のため、外出後や食事の前の液体せっけんを使用した手洗いや、人ごみでのマスク着用を励行してください。また、感染拡大を防ぐため、症状のある方はマスクを着用するなどの咳エチケットに努めてください。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第4週11.1人、第5週10.1人とほぼ横ばいで推移しています。1月の採取検体から検出された病原体は、ノロウイルスが約8割、サポウイルスが約2割を占め、1月以降サポウイルスの検出数が増加しています。

RSウイルス感染症は、中予を中心に徐々に増加し、松山地区でやや多くみられます。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、松山地区でやや多く、他の地区では減少傾向です。流行性耳下腺炎は、昨年の夏をピークに、宇和島地区を除いては減少傾向がみられます。

## 県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

四類感染症 : つつが虫病 1例

五類感染症 : 後天性免疫不全症候群 1例(無症状病原体保有者1例)・・・2012年累計2例

20歳代男性、推定感染経路:同性間性的接触、推定感染地域:国内

梅毒 1例 麻しん 1例(検査診断例 40歳代女性)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	→ 37.2	八幡浜地区を除く全県下で警報レベル。A香港型が主流だが、B型もみられる。
RSウイルス感染症	→ 1.2	中予を中心に徐々に増加。
A群溶レン球菌咽頭炎	→ 1.6	松山地区でやや多く、他の地区では減少傾向。
感染性胃腸炎	→ 10.1	横ばいで推移。ノロウイルスが多いが、サポウイルスも徐々に増加。
流行性角結膜炎	→ 3.6	今治地区で多発。八幡浜地区でもやや増加。

解析評価委員のコメントから

インフルエンザ : 全地域で大流行です。先週ぐらいから保育園幼稚園が多いです。A型もB型もでています。(東予) A型が横ばい状態が続いています。B型は散発的にみられる程度です。(中予)

ほとんどがA型のようなです。5週は宇和島地区はやや減った印象です。(南予)

RSウイルス感染症 : 横ばい。(東予) 引き続きみられますが、やや減少傾向です。(中予) 少数です。(南予)

A群溶レン球菌咽頭炎 : 一部でみられます。熱があり、インフルエンザと思ったら溶連菌感染だったこともあります。(東予) 引き続き見られます。(中予)

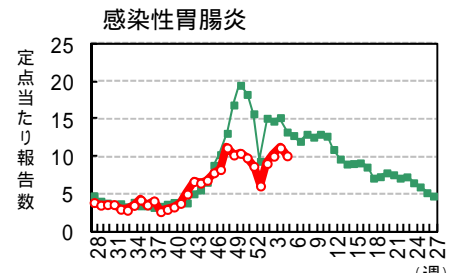
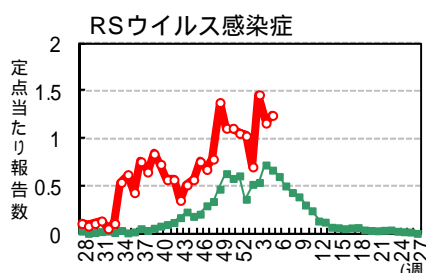
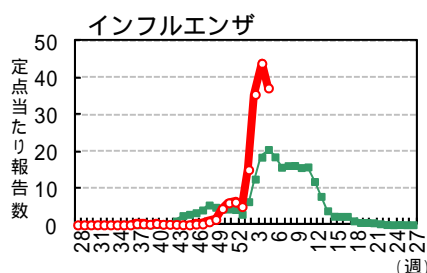
感染性胃腸炎 : まだ流行していますが、インフルエンザが多いため目立ちません。例年のようにあまり多くないです。(東予)

増加してきました。嘔吐や腹痛が主で下痢のひどくない例が多いようです。(中予)

少数。口はほとんどみられません。(南予)

マイコプラズマ肺炎 : 肺炎までいかないマイコプラズマ感染はずっと流行っています。熱がありインフルエンザとついこんでいたらマイコプラズマだったことは度々あります。(東予)

過去30週の動向 (→ : 過去30週の動向、→ : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

病原体検出情報

平成 24 年 2 月 7 日現在

第3週～5週に採取されたインフルエンザ患者検体からインフルエンザウイルス A 香港型が 10 株、B 型が 2 株検出されています。本県においては、今まで A 香港型のみ検出されていましたが、東予地区で、第3週～4週に採取された検体から初めて B 型が検出され、A 香港型と B 型の混合流行の様相を見せ始めました。なお、全国的にも A 香港型が大半を占めていますが、B 型も少数検出されています。

インフルエンザ分離状況(集団発生事例、入院症例を除く)

型	地域	期間					計				
		10月	11月	12月	1週 1/2-	2週 1/9-		3週 1/16-	4週 1/23-	5週 1/30-	
A 香港 型	東予		1			1	3	1			6
	中予	2	1	3	2	2	3	3	1	17	
	南予						2			2	
	計	2	2	3	3	5	6	3	1	25	
B 型	東予							1	1		2
	中予										
	南予										
	計						1	1		2	

その他の呼吸器疾患では、第2週に気管支炎及び不明熱患者検体から RS ウイルスが 2 例、百日咳患者検体から百日咳菌が 1 例検出されています。また、1 月中旬に採取された気管支炎患者検体からエンテロコックウイルス、不明熱患者検体からアデノ様ウイルスが各 1 例分離され、現在同定中です。

感染性胃腸炎では、第3週～5週に採取された検体(31 例)からノロウイルス GII が 20 例、サポウイルスが 4 例検出されています。また、ノロウイルス GII とサポウイルスの重複感染が 1 例ありました。年末までは、感染性胃腸炎の主要な病原体はノロウイルスでしたが、第2週以降はサポウイルスも検出されるようになってきました。

過去 5 週 検出病原体

(1 月 2 日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
1	1/2～1/8	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1
2	1/9～1/15	四国中央	百日咳	百日咳菌	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				ノロ	糞 便	4
				サポ	糞 便	1
				下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液
不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	1			
3	1/16～1/22	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	9
				ノロ・サポ	糞 便	1
4	1/23～1/29	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	5
				サポ	糞 便	4
5	1/30～2/5	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	6

月別病原体検出結果

検出病原体	2011					2012	合計	
	8	9	10	11	12	1		
ウイルス	コクサッキーA6	1					1	
	コクサッキーA10	1					1	
	コクサッキーA16	1	2	2	3		8	
	コクサッキーB1	1					1	
	コクサッキーB3		2				2	
	コクサッキーB5	1			5	5	11	
	エコー 3	1		1	1		3	
	エコー 6				1		1	
	ライノ	1					1	
	インフルA香港			2	2	3	18	25
	インフルB						2	2
	RS		2	1	2		2	7
	ムンプス	1	1	1		1		4
	ノロ			17	11	9	26	63
	サポ						6	6
	アデノ				1			1
	アデノ 1			1				1
	アデノ 2	1	2	1				4
	アデノ 3	2						2
	アデノ 4	1						1
アデノ 5	5						5	
ウイルス計	17	9	26	26	18	54	150	
細菌	下痢原性大腸菌	1	3	2	1	1	1	9
	サルモネラ O9				4	1		5
	カンピロバクター			1		1		2
	セレウス					1		1
	百日咳菌						1	1
細菌計	1	3	3	5	4	2	18	

臨床診断別検出結果(2011 年 11 月以降採取検体)

検出病原体	イン フル エン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	下 気 道 炎	不 明 熱	発 疹 症 ・ 不 明 発 疹 症	合 計
コクサッキーA16						3	3
コクサッキーB5				9		1	10
エコー 3				1			1
エコー 6				1			1
インフルA香港	22				1		23
インフルB	2						2
RS				3	1		4
ムンプス				1			1
ノロ		46					46
サポ		6					6
アデノ		1					1
ウイルス計	24	53		15	2	4	98
下痢原性大腸菌		3					3
サルモネラ O9		5					5
カンピロバクター		1					1
セレウス		1					1
百日咳菌			1				1
細菌計		10	1				11

愛媛県 定点把握五類感染症 2012年 第 5 週 (2012.1.30 ~ 2.5)

患者報告数	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					1) インフルエンザ(入院)				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎					
四国中央	195	1		2	12	8							1	-	-						四国中央		
西 条	404	3	1	5	46	10	6	2	4				2		2						2	西 条	
今 治	359	8	3	12	28	4	1		5				5		14						2	今 治	
松 山 市	645	18	2	11	173	13	3	7	5				5		5	-	-	-	-	-		松 山 市	
松 山	240	13	2	18	64	2			2	5			4		1						2	松 山	
八 幡 浜	144			7	38	13			1				7		7							八 幡 浜	
宇 和 島	285	3		4	12	9							12								3	宇 和 島	
愛 媛 県	2272	46	8	59	373	59	10	17	20				36		29						9	愛 媛 県	
1週前	2681	43	5	84	412	67	17	27	21	1			44		23						3	1週前	
2週前	2165	54	2	77	371	75	10	38	29	1	1		26	1	20						7	2週前	
3週前	915	26	3	42	335	106	6	29	37				60		9						2	3週前	
年 齢 別	0-5ヶ月	7	7		4	1											1				2	0	
	6-11ヶ月	26	12		11	3															2	1-4	
	1	85	13	3	47	7	1							1	1						2	5-9	
	2	84	8	2	52	12	3	1	2					2	6							10-14	
	3	137	4	1	35	8	3	2						3	1							15-19	
	4	216	1	1	12	40	9		4					5								20-24	
	5	177	1	1	6	35	14	2	2					7							1	25-29	
	6	201			14	36	3		1					4	1								30-34
	7	175			9	22	2	1	1					5	1						2	35-39	
	8	145			2	13			3					4									40-44
	9	128			3	15			1					2									45-49
	10-14	434			8	36			2					3									50-54
	15-19	71				4									2								55-59
	20-29 <sup>4)</sup>	48				23									3								60-64
	30-39	106													6								65-69
	40-49	104													2								70-
	50-59	57													1								
60-69	37													4									
70-79 <sup>5)</sup>	24													1									
80-	10																						

年齢別(基幹定点疾患)

定点当たり報告数

四国中央	39.0	.3	.7	4.0	2.7							.3	-	-							四国中央	
西 条	40.4	.5	.2	.8	7.7	1.7	1.0	.3	.7				.3		2.0						2.0	西 条
今 治	44.9	1.6	.6	2.4	5.6	.8	.2		1.0				1.0		14.0						2.0	今 治
松 山 市	37.9	1.6	.2	1.0	15.7	1.2	.3	.6	.5				.5		1.7	-	-	-	-	-		松 山 市
松 山	34.3	3.3	.5	4.5	16.0	.5		.5	1.3				1.0		1.0						2.0	松 山
八 幡 浜	20.6			1.8	9.5	3.3		1.5	.3				1.8		7.0							八 幡 浜
宇 和 島	40.7	.8		1.0	3.0	2.3							3.0								3.0	宇 和 島
愛 媛 県	37.2	1.2	.2	1.6	10.1	1.6	.3	.5	.5				1.0		3.6						1.5	愛 媛 県

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病を除く。

4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。

5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
イ ン フ ル エ ン ザ 定 点	61	5	10	8	17	7	7	7
小 児 科 定 点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼 科 定 点	8	-	1	1	3	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は2月8日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2012年 第 4 週 (2012.1.23 ~ 1.29)

	患者報告数	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					1) インフルエンザ(入院)							
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎								
保健所別	四国中央	254	4		6	14	4					1				-	-			1			2	四国中央			
	西条	322	3		5	62	17	6				3				13								西条			
	今治	400	12	3	13	40	4	7	2	4	4					3								今治			
	松山市	786	9	2	36	180	12	4	15	7	1				5		6	-	-	-	-	-		松山市			
	松山	268	12		15	67	4			5	5				5		2							松山			
	八幡浜	180	3		7	37	16			5	1				3		6							八幡浜			
	宇和島	471			2	12	10								15								1	宇和島			
週推移	愛媛県	2681	43	5	84	412	67	17	27	21	1				44		23					2		3	愛媛県		
	1週前	2165	54	2	77	371	75	10	38	29	1	1			26	1	20					9		7	1週前		
	2週前	915	26	3	42	335	106	6	29	37					60		9					6		2	2週前		
	3週前	303	38	1	20	224	107	14	20	13					70		13					4		2	3週前		
年齢別	0-5ヶ月	9	8			2	3			2	1														0		
	6-11ヶ月	25	10			17	1			13					1										1-4		
	1	98	8	2	2	38	15	2	1	6					1									5-9			
	2	107	9		2	38	12	5	1						3		1							1	10-14		
	3	134	6	1	7	44	14	4	4						5		2								15-19		
	4	220	1	1	9	50	6	2	5						5											20-24	
	5	253	1		14	55	11	3	7						8		1									25-29	
	6	221			22	36	2	1	6						9												30-34
	7	169		1	8	19	2								2												35-39
	8	179			7	23	1			2					5												40-44
	9	206			7	16									2												45-49
	10-14	611			5	38									2		1										50-54
	15-19	78				10				1							1										55-59
	20-29 <sup>4)</sup>	55			1	26										1		2									60-64
	30-39	117																2									65-69
	40-49	75																4									70-
	50-59	55																5									
60-69	29																3										
70-79 <sup>5)</sup>	17																1										
80-	23																										

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	50.8	1.3		2.0	4.7	1.3			.3					-	-					1.0			2.0	四国中央
	西条	32.2	.5		.8	10.3	2.8	1.0		.5					2.2										西条
	今治	50.0	2.4	.6	2.6	8.0	.8	1.4	.4	.8					.6		9.0								今治
	松山市	46.2	.8	.2	3.3	16.4	1.1	.4	1.4	.6	.1				.5		2.0	-	-	-	-	-			松山市
	松山	38.3	3.0		3.8	16.8	1.0		1.3	1.3					1.3		2.0								松山
	八幡浜	25.7	.8		1.8	9.3	4.0		1.3	.3					.8		6.0								八幡浜
	宇和島	67.3			.5	3.0	2.5								3.8									1.0	宇和島
	愛媛県	44.0	1.2	.1	2.3	11.1	1.8	.5	.7	.6	.0				1.2		2.9					.3		.5	愛媛県

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病を除く。

4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。

5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は2月1日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 2012年 第3、4週 (2012.1.16 ~ 1.29)

(定点当たり報告数)

	インフルエンザ <sup>1)</sup>	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 <sup>2)</sup>	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 <sup>3)</sup>		
3週	愛媛県	35.5	1.5	.1	2.1	10.0	2.0	.3	1.0	.8	.0	.0	.7	.1	2.5			1.5		
	近畿県	香川県	39.7	.3	.1	.9	7.9	1.1	.6	.5	.5			.3				.2	.2	
		徳島県	22.7	1.4	.1	1.5	9.1	1.2	.1	.6	.5		.1	1.4						
		高知県	59.3	2.3	.0	1.3	6.4	1.8	.1	1.2	.3	.0	.1	.4					1.1	
	全 国	22.7	.7	.2	2.2	11.2	1.6	.2	.3	.5	.0	.0	.5	.0	.5	.0	.0	1.0	.0	
	北海道	8.4	1.2	.5	2.6	3.5	1.4	.3	.2	.3	.0	.0	.1		.3			.3		
	東北	20.2	.8	.2	2.5	7.6	2.0	.1	.3	.4	.0	.0	.8	.0	.5	.0	.0	1.6	.0	
	関東	14.8	.3	.2	2.2	12.2	1.5	.1	.2	.5	.0	.0	.3		.7	.0	.1	1.0	.1	
	甲信越北陸	20.3	.5	.5	3.7	12.7	2.0	.5	.4	.4	.0	.0	.7	.0	.4			1.0	.0	
	東海	45.4	.8	.1	1.8	11.3	1.5	.1	.3	.6	.0	.0	.5	.0	.3		.0	1.1		
近畿	28.6	.8	.1	1.5	10.4	1.4	.2	.3	.5	.0	.0	.3		.2	.1	.0	.7			
中国四国	31.5	1.3	.2	1.8	9.0	1.5	.3	.8	.5	.0	.0	.6	.0	.6	.0	.0	.8	.0		
九州沖縄	17.8	.7	.4	3.0	16.1	2.1	.1	.2	.8	.0	.0	.8	.1	1.0	.0	.0	.9			

(1.25集計)

4週	愛媛県	44.0	1.2	.1	2.3	11.1	1.8	.5	.7	.6	.0		1.2		2.9			.3		
	近畿県	香川県	43.2	.5	.3	.6	6.5	1.0	.3	.4	.5	.0		.3					.2	
		徳島県	35.2	1.0	.3	1.5	6.1	2.1	.1	.8	.3		.1	.8						
		高知県	66.7	2.6	.0	1.7	4.7	.9	.1	1.0	.4	.0		.7		.7			.6	
	全 国	36.0	.7	.2	2.2	9.1	1.7	.2	.3	.5	.0	.0	.5	.0	.5	.0	.0	.8	.0	
	北海道	20.9	1.0	.3	3.7	3.4	1.1	.3	.2	.4	.0	.0	.2		.4			.4		
	東北	33.3	.6	.2	2.7	6.5	2.2	.2	.3	.5	.0	.0	.9	.0	.4			1.4	.0	
	関東	32.0	.3	.2	2.2	9.2	1.4	.1	.2	.5	.0	.0	.3	.0	.8	.1	.1	1.0	.1	
	甲信越北陸	32.6	.5	.5	3.8	12.3	2.0	.4	.3	.4		.0	.7		.3			.9	.0	
	東海	54.3	.7	.2	1.5	8.4	1.3	.1	.3	.4	.0	.0	.5		.3			.5		
近畿	41.6	.7	.1	1.5	8.2	1.6	.2	.2	.5	.0	.0	.3		.2	.0		.7			
中国四国	39.6	1.2	.2	1.7	7.9	1.5	.2	.6	.5	.0	.0	.6		.8			.5	.0		
九州沖縄	30.2	.9	.4	2.5	13.3	2.5	.2	.1	.7	.0	.0	.8	.0	.7	.0	.0	.5			

(2.1集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

